

# 尊聞行知

尊聞行知「聞くことを尊び、知るところを行う」  
梅村清明書（ 第二代校主・初代梅村学園理事長）

2012.4.1【発行所：中京大学剣友会事務局】

名古屋市昭和区八事本町 101-2 ☎052-835-7692

## 剣友会発足 30 周年 OB の情熱が成し遂げた剣聖旗



(大会開会式)

中京大学剣友会発足 30 周年記念 中京大学剣聖旗第 1 回全国選抜高等学校剣道大会が平成 24 年 2 月 12 日に開催されました。本大会実施の経緯を説明しますと、昨年（第 29 回総会）が開催された折に、発足 30 周年という節目として記念行事の立案が提案されました。実施を前提に本議案を事務局が預かり企画に際して「全国で多くの剣友会員がともに汗をかき大学生活を送った中京大学の地で一同に会する」ことが可能となるような企画の立案を模索しました。そして役員会での審議を経て全国レベルの剣道大会の開催が決定されたわけです。内田信之先輩(昭和 58 年卒)を委員長として大会実行委員会が立ち上げられました。10 回以上に亘って委員会で議論を重ねた末、本学を卒業し高等学校で剣道部の指導に携わる学校、もしくは現在剣道部に在籍する学生の母校を中心に参加を呼掛け本大会の開催に至りました。

開会式(写真右上)ではオープニングアトラクションと



して和太鼓と武道の融合をはかる転輪太鼓の演武が披露され、参加選手との共演が盛り込まれた(写真下)。

大会は男子団体の部 32 チーム、女子団体の部 30 チームが剣を交え、男子は高山西高校(岐阜)、女子が守谷高校(茨城)が第 1 回大会の優勝を勝ち取った。これも OB・OG の情熱が大会を盛り上げ、無事成功内に幕が引かれました。本大会が実施できたのも実行委員の先輩方と部員を率いて参加頂いた剣友会 OB・OG との連携あつてのことです。参集する生徒達が気持ちよく大会に臨めるように大会の準備から運営に至る実に細かな部分まで配慮されていました。まさしく参加校を率いる OB・OG と実行委員が知恵を出し合い、これまでの経験に裏打ちされた実行力で阿吽の呼吸のごとく歯車を噛み合わせたものと言えるでしょう。ある OB は、「30 年ぶりに母校の校風に



浸り、学生の頃の思いが甦ることでパワーを頂いた」。また、他の OG は「全国に羽ばたいた当時の盟友達とのふれ合いが本大会によって実現できたことはこの上ない喜びである」との思いを寄せ、毎年こうした機会を期待したいと語ってくれています。

言うまでもなく、剣聖旗は今後も末永く大会の開催

を継続し、近い将来には高校生の部門に留まることなくその底辺を支える中学生の部門の導入を視野に来年度の開催を予定しています。今後とも剣友会員の密な連携を深めて頂き、温かいご支援とともに全国に剣聖旗の名が知られるようご指導願う次第です。

### 第 30 回記念祝賀会 功労者表彰 (剣友会への多大な貢献・全国で活躍する先輩)

平成 24 年 2 月 11 日 (於：名鉄豊田ホテル) にて第 30 回剣友会総会が開催された。役員会の議を経て提案された議題は満場一致で承認された。総会終了後に剣友会発足 30 周年記念祝賀会が開催された。水谷好助



剣友会長の挨拶に引続き、中京大学校友会本部長の片岡武司氏 (写真上中央) と全日本剣友会副会長の木本三夫氏より祝辞を頂いた。剣友会のさらなる発展を期待する旨のありがたく受け留めたいものである。

引続き功労者表彰が執り行われた。まず、「剣友会発足以来、会の運営等に多大な貢献のあった」4 名の先輩に表彰状と記念品が贈呈された。3 名を代表して伊藤武年先輩(昭和 35 年卒)に授与された(写真下)。



剣友会が今日に至る原動力として貢献されたことに敬意を表するものである。さらに、「中京大学剣道部を卒業し、個々の職域において選手として、また、チームの監督として全国の大会で優秀な成績をおさめられた」22 名の先輩に表彰状と記念品が贈られた。代表で平成 23 年インターハイで守谷高校女子チーム(茨城)を監督として優勝に導いた塚本浩一先輩(昭和 58 年卒)に授与された(写真下)。表彰者の先輩方は以下の通りである。



☆剣友会への多大な貢献のあった先輩(敬称略)

(故) 高橋宗男 (昭和 33 年卒：名誉会長)・今市隆康 (昭和 33 年卒：相談役)・伊藤武年 (昭和 35 年卒：相談役)・和田 修 (昭和 41 年卒：副会長)

☆全国レベルの大会優勝選手・監督(敬称略)

豊村東盛 (全国家庭婦人優勝大会監督：東京)・九木山満美 (全国警察大会・全国家庭婦人優勝選手：東京)・泊 潤 (国体団体優勝選手(次鋒)：三重)・三谷菜智 (全国家庭婦人優勝選手：三重)・西村真美 (全国家庭婦人優勝選手：三重)・山下涼子 (全国家庭婦人優勝選手：三重)・島村百重 (全日本女子選手権優勝 2 回・全国家庭婦人優勝選手：東京)・前原正作 (国体優勝選手：鹿児島)・水田渉 (全国教職員大会個人優勝：愛知)・古川久美子 (全国教職員大会個人優勝：宮崎)・北村真一 (国体団体優勝選手(次鋒)：愛知)・藤島直也 (国体優勝選手：愛知)・俣木正喜 (全国教職員大会団体優勝選手(大将)：鹿児島)・水田重則 (全国教職員大会団体優勝選手(大将)：茨城)・棗田英雄 (国体優勝選手：広島)・木本光一 (国体優勝選手：広島)・西ノ原誠 (全国 OB 大会優勝選手：大阪)・目謙一 (全国 OB 大会優勝選手：大阪)・永田鉄三 (全国 OB 大会優勝選手：大阪)・竹内知宏 (国体優勝監

督・新潟)・内田信之(全日本少年練成大会監督:愛知)・塚本浩一(インターハイ優勝監督・茨城)

## 八段昇段・舟津正人先輩

平成 23 年 5 月に京都で行われた剣道八段昇段審査にて舟津正人先輩(昭和 60 年卒)が剣道八段を授与された。船津先輩が合格されたことで中京大学剣友会から 15 名を数えるに至った。

### 剣道八段昇段 「交剣知愛」

舟津正人



謹啓、諸先輩方におかれましては益々ご健勝にてお過ごしのこととご推察申し上げます。

昨年(平成 23 年)5 月の審査にて剣道八段に合格させていただきました。平成 24 年 2 月 11 日に開催されました第 30 回剣友会発足 30 周年記念祝賀会におきまして、小生の剣道八段昇段記念を催して戴きまして衷心より御礼申し上げます。また、心のこもった記念品を頂戴し感謝に堪えません。有難うございました。

さて、振り返ってみますと八段審査に向けて自ら実践してきた試みは、心と体が一体となった「心身共栄」を目指すことにありました。寝ても覚めても最高の立会いをイメージし稽古に励んできました。しかし、過去 3 回の審査では気が高まり過ぎたのか、相対する相手との空間的な攻めや気位を据えることができず打ち気に逸ることが先行していました。結果はいうまでもありません。審査後に我が恩師である林邦夫先生とお会いする機会を得、お話をお聞きする中で大変印象深く、またその後の稽古の糧となる助言を頂いたことが思い起こされます。それは、打ち気の解釈についてです。先生は「いつでも向入れてあげるよ・応じてあげるよ・来ないなら打ちますよ」という気位をもって対峙することを常に心掛けることが大切であると言

われました。以来、この助言をもとに稽古で実践に取り組むうちに打たれてもさほど心の動揺は無く、打ってくれてありがとうという感謝の気持ちが芽生えるようになってきました。それにもまして剣道が面白くなってきたことが驚きです。出稽古を重ね、気に応じ・動に応じることが自然に身につかずと心身が錬磨されていったようです。

審査当日はこれまでの稽古通りに先を維持し、縁を切らないように打ち切り、打たれようが返されようが自分を信じることを心掛けました。その甲斐あって気攻めも充実し、日頃の稽古で積み重ねてきた相手への感謝の念をもって立会うことができました。これまでの実践が反映されたのかは定かではありませんが状況に応じた無心の打突ができたように思えます。まさに心身融合(姿勢・呼吸・所作・構えの一体化)の境地を見たといっても過言ではありません。

今回の昇段は「交剣知愛」つまり、自分の弱点を教えてくれた相手に対して、感謝の気持ちを忘れない。さらに、一期一会の心境を与えてくれるよき相手に恵まれたことへの感謝の意を表するものです。まさしく「剣を交えて愛を知る」のごとく、多くの先生方や剣友の皆様との「出会い」の賜物と思っています。

これからは、出会った皆様方とともに剣道界はもとより社会的な重責を担った立場に立って「美しく、正しく、心を打つ」日々の立ち振舞い(剣道)を目指して精進してまいりたいと思っています。今後とも倍旧のご指導ご鞭撻頂けますようよろしくお願いいたします。

## 会員の活躍

☆平成 23 年度に全国大会レベルの大会で活躍された先輩方は次の通りです(敬称略)。

### 《剣道八段授与》

: 舟津正人

### 《第 9 回全日本選抜剣道八段優勝大会》

: 出場選手 豊村東盛(東京)・水田重則(茨城)

### 《第 57 回全日本東西対抗剣道大会》

: 東軍 16 将 堀山健治

### 《第 3 回全日本都道府県対抗女子剣道大会》

: 準優勝(岐阜) 富田ちはり(大将)・荻田ひろ美(副将)

☆ 山中無一文 (本名・山中康弘：昭和 55 年卒) 先輩執筆による故近藤利雄先生との思い出のエッセイ集が刊行されました。『素質より努力』 山中無一文著 文芸社 2 月新刊 定価 1,155 円



訃報

平成 23 年度 3 名の剣友没す。剣友会から供花させていただきました。先輩方の剣友会への貢献は何よりも代え難いものでありました。故高橋宗男先輩は剣友会初代会長として剣友会の発足に尽力されました。会長勇退後は名誉会長として後進の先輩方の相談等に耳を傾けて戴き今日に至る礎を築かれました。慎んでお悔やみ申し上げます。

- (故) 高橋宗男先輩 (昭和 33 年卒)
- (故) 古田秀直先輩 (昭和 45 年卒)
- (故) 小村美正先輩 (昭和 46 年卒)

【新会員紹介】

栗本 巧 山口隼人 竹中俊瑛 吉原公一郎 各務優太  
関本望妃 小杉温子 宮路亜由子 安井 麗

**お知らせ：中京大学剣聖旗第 2 回全国選抜高等学校・第 1 回中学校剣道大会が平成 25 年 2 月 11 日に開催されます。大会要項等の詳細は本年 9 月以降を予定しています。奮ってご参加いただけますことお待ちしております。(連絡先：事務局(鷺見)：E メール sumich@lets.chukyo-u.ac.jp ☎ 052-835-7692(直通), 090-9912-4135(携帯))**

1.平成 23 年度剣友会一般会計報告

支出の部・摘要 (30 回総会承認資料を基に摘要・金額を項目毎に合算)	金額	累計
1. 会議費		
第 29 回総会等会議費	70,900	1,406,863
2. 事業費		
剣友会誌第 23 号発行	12,289	1,394,574
剣道部大会等支援	450,000	944,574
学連剣友大会協賛金等	37,210	907,364
カナダチーム合同練習支援	10,200	897,164
3. 慶弔費(3 氏生花等)	67,012	830,152
4. 通信費(郵送代等)	189,120	641,032
5. 事務費(印刷代等)	52,693	588,339
6. 事務局費	60,000	528,339
① 支出計	949,424 円	
収入の部・摘要	金額	
1. 前年度繰越金 (平成 22 年度)	453,560	
2. 年会費 (106 名分)	530,000	
3. 支部会費 (茨城, 近畿, 北海道)	160,000	
4. 年会費・入会金 (卒業生 18 人分)	180,000	
5. 雑収入 (祝賀会残金, 利息)	154,203	
② 収入計	1,477,763 円	
収支計 ①(1,477,763) - ② (949,424)		
= 528,339 円(24 年度繰越)		

2. 特別会計(爪橋・倉成先輩八段昇段祝賀会)

1) 収入・摘要	金額	
記念品代(当日・振込)	682,000	
本部支援(会議費)	20,000	
収入計	702,000	
2) 支出・摘要	金額	累計
記念胴 (2 名)	270,000	432,000
総会祝賀会費(会場費含)	277,869	154,131
支出計	547,869	
収支計：1)702,000-2)547,869=	154,131(本部会計)	

<第 16 期 剣友会役員>

- <相談役>今市隆康(33) 伊藤武年(35) 近藤勁助(36) 細田隼郎 (37) 林邦夫(42)
  - <会 長>水谷好助(36) <副会長> 川口正人(37) 内田武夫(38) 平松直(40) 和田修(41) 大藪正(41) 堀山健治(50)
  - <幹事長> 白石裕章 (54) <副幹事長>内田信之 (58)
  - <常任幹事>小山哲(45) 石黒峰司(45) 寺坂達夫(49) 村山啓三(50) 筒井政行(52) 二橋高弘(53) 志賀義彦(54) 森健志 (55) 山村勝弘(55) 倉成健治(59) 杉田龍彦(61) 下村直樹(61) 田中勝明(63) 山崎嘉一(04) 愛知英樹(06) 森部康二郎(19) 村瀬直樹(22) 寺澤真由美(58) 青山美加(60) 園山幸喜恵(61) 石原たまみ(01) 鈴木由記子(09) 加賀真琴(12) 鈴木ゆり(12) 杉山舞子(15) 岩田佳恵(20)
  - <学年幹事>水谷好助(36) 近藤勁助(36) 西田忠幸(37) 水口勲(38) 平松直之(40) 山本紘司(41) 林邦夫(42) 竹内修(43) 鈴木博紀(44) 石黒峰司(45) 名和勤武(46) 小柳好直(47) 田中浩二(48) 寺坂達夫(49) 堀山健治(50) 黒木正之(51) 筒井政行(52) 尾上芳彦(53) 平瀬尋規(54) 森健志(55) 渡辺宏(56) 浜野野浩(57) 内田信之(58) 寺園光則(59) 島崎裕樹(60) 杉田龍彦(61) 森川政人(62) 田中勝明 (63) 桂川学(01) 馬場隆(02) 近本彰(03) 藤嶋直也(04) 川口尚記 (05) 柳沢正人 (06) 松井修司(07) 太田憲孝(08) 井出智也(09) 大藪誠士(10) 谷岡憲太郎(11) 杉浦 弘恭(12) 東隆也(13) 鈴木佳規(14) 梅村明宏(15) 日置章充(16) 栗山貴行 (17) 日置康紀(18) 二橋光哉(19) 中尾聡(20) 福岡拓弥(21) 村瀬直樹(22) 栗本巧 (23)
  - <女子幹事>金田泰子(49) 水野貴美(57) 坂井田広美(60) 村中浩子(04) 大参智美(05) 秋田まさ美(06) 田中有理(07) 荒川ひとみ(09) 岡本暁子(14) 岩田佳恵(20)
  - <監 査> 遠山英樹 (53) 島崎裕樹 (60) <事務局長> 鷺見勝博 (54)
- 附則：1)名簿( )内数字は卒業年度を示す(内訳：32～63 は昭和,01～20 は平成)。  
2)本役員は平成 24 年 2 月中京大学剣友会第 30 回総会にて承認。任期は中京大学剣友会会則第 9 条第 1 項に則し平成 24 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日までの 2 年間とする。  
3)氏名下線者は新規役員を示す。

年会費の振込のお願い

平成 24 年度会費 (5000 円) の振込等お済ませでない方は納入頂けますようよろしくお願いいたします。

銀行名・支店名：三井住友銀行

支店名：八事支店(店番号：733)

口座番号：普通 0165226

口座名義人：中京大学剣友会事務局